

中心市街地活性化基本計画



地域再生計画

目標	指標	現況値 (H18)	目標値 (H23)
「訪れてみたい」まち	中心市街地の集客数	178万人	200万人
商業・サービスの充実した「暮らしやすい」まち	小売業年間販売額	41,123百万円	43,000百万円
	空き店舗率	16.3%	9.5%
「いきいきと活動できる」まち	NPOの実施事業数	30	90

地域資源の活用による魅力アップ

☆地域資源活用販路開拓等支援  
→ 地域資源である特産物を生かしたスイーツ等の商品化、販路拡大イベント「おいしいまち宝塚」の拡大

○手塚治虫記念館の海外プロモーション等によりアジアを中心とした海外観光客の集客を強化

手塚治虫記念館等海外集客強化(例:案内の多言語対応)

○「食」に着目したスタンプラリーやまち歩き促進型のミニ音楽祭等について、**イベント間の連携強化**や市民参加の促進によりまちなか回遊策を強化

スタンプラリー事業(例:おいしいまち宝塚)

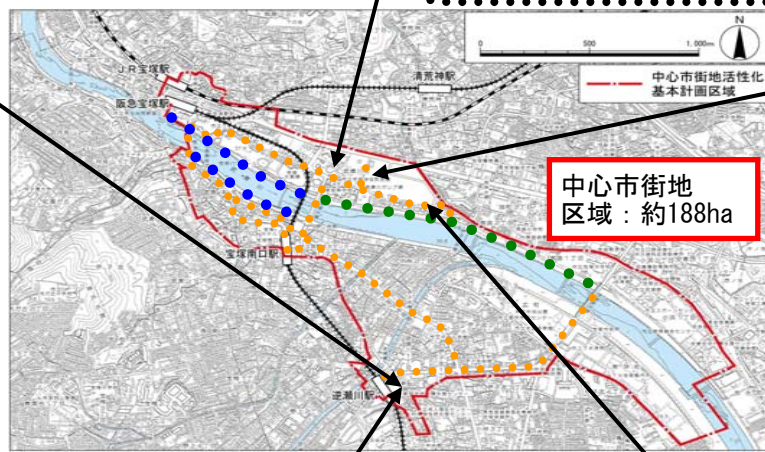
○H18の西友撤退により大規模な空床が発生している再開発ビルの商業床一体化を行い、食品スーパーやファッション等のテナントミックスを実施。



アピテナントミックス事業計画



Clubアピア事業(例:子育てサロン)



○再開発ビルの空床を活用し、子育てサロンや音楽・美術・健康クラブ等を配置。自治会・まちづくり協議会・NPO法人が連携し、**地域住民の活動・交流の場の提供**を行う。

○宝塚音楽学校の旧校舎をリニューアル。宝塚大劇場の舞台をイメージした野外ステージの整備や宝塚歌劇の映像資料等の展示により、新たな観光資源として再生。



宝塚音楽学校旧校舎リニューアル事業計画



ファミリーランド跡地開発(例:関西学院初等部)

○遊園地跡地に**関西学院初等部を開校**(平成20年4月)。地域との連携を重視し、子育てセミナー等の方策を検討。

「歌劇」「アニメ(手塚治虫)」をはじめとする文化・芸術・観光資源を活用したまちなか観光の再生を行うと共に、旺盛な市民活動を生かした商業・地域コミュニティの再生により、訪れる人と暮らす人がともに過ごしやすい中心市街地を形成する。